

海況情報収集迅速化システム開発試験

中地 良樹・田中 嘉治・竹内 淳一
武田 保幸・調査船「わかやま」
船長 藤井 一人他6名

目 的

本県沿岸域は黒潮の影響を受ける海域であり、黒潮変動を把握することは魚群分布・漁場形成の予測には不可欠な海況情報である。このため黒潮流域および黒潮内側域の迅速かつ詳細な海況情報を得るための収集システムを開発することを目的とする。調査は南西海区水産研究所の指導調整のもと、(社) 漁業情報サービスセンターと8県の関係試験研究機関が共同で実施した。

方 法

1. 調査船調査

和歌山県水産試験場調査船「わかやま」により沖合定線調査時にドップラー流速計(ADCP)による測流を実施した。

2. 定地水温調査

日高郡由良町大引地先の定置網漁場(設置水深10m)にメモリー式自記水温計を設置した(図1)。データの回収は月1回実施した。

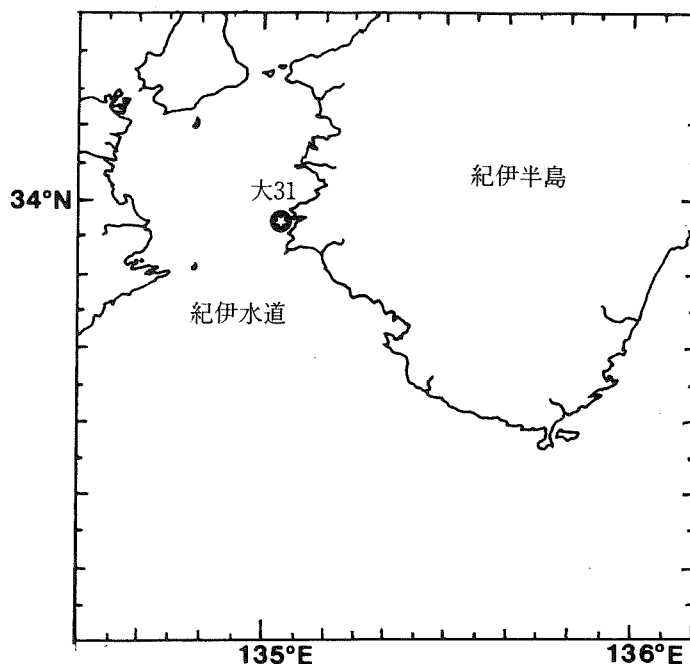


図1 係留系自記水温計の設置位置

結 果

1. 調査船調査

4月から3月までの12回(10月は欠測、11月は2回)調査を実施し、結果は沖合黒潮調査速報で南西海区水産研究所・関係機関および県内漁協等にFAX送信した。

2. 定地水温調査

大引10mの4月から3月までの午前9時の水温結果を図2に示した。

観測開始直後の4月20日には春期の暖水波及が観測され、水温は16℃台～18℃台へ約2℃上昇した。これ以後水温は昇温を示し5月下旬後半には20℃台、6月は18～21℃台、7月は19～25℃台、8月は22～26℃、9月は24～26℃台と月平均は25.29℃で最高値となった。10月は初旬の24℃台から下旬には21℃台に降温し、11月は21℃台～19℃台、12月は19℃台～14℃台、1月は14℃台～13℃台となったが中旬には暖水波及により一時18℃台を観測した。2月は9日および20～21日に暖水波及により16℃台に昇温したが、概ね12℃台で月平均水温は13.36℃で最低値となった。3月には暖水波及もみられたが12℃台～16℃台と昇温傾向に転じた。

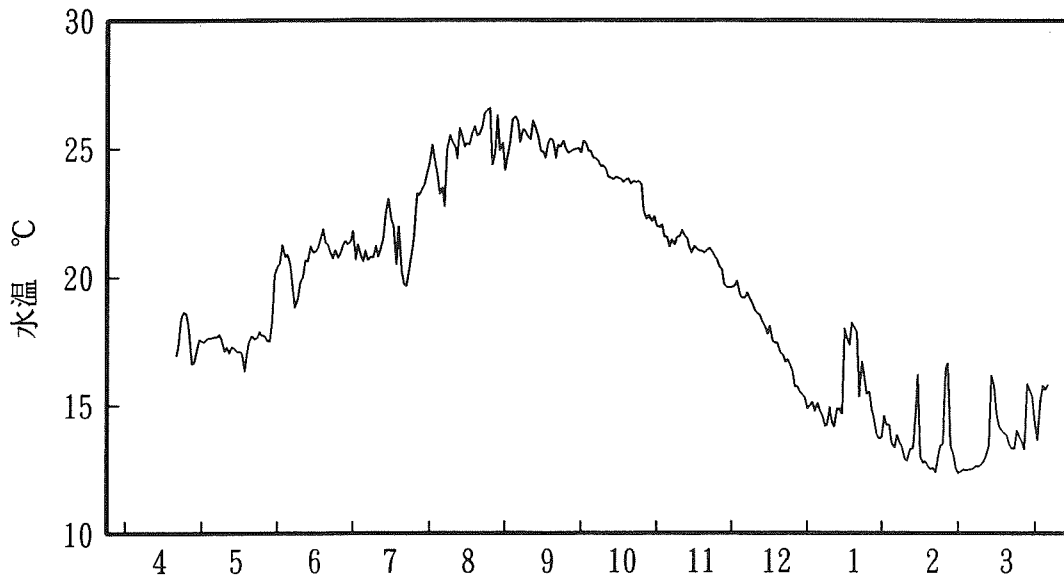


図2 大引10m午前9時の水温観測結果
(1993.4～1994.3)